

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	令和3年2月26日 午後7時00分から8時30分まで
3 会場	西部公民館 第5学習室
4 出席者	小川委員、佐藤祥一委員、清水委員、菅沼委員、滝沢委員、瀧澤委員、竹内委員、立木委員、町田委員、宮崎委員、向山委員
5 市側出席者	【事務局】 小山西部地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年3月11日

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項

(1) 上田地域における地域協議会の設置単位の見直しについて
事務局より資料を基に説明

以下、質疑応答

(会長) 私は第7期の見直しの際、反対の立場で意見を述べたが、賛成多数により上田西部地域協議会としては「賛成」となった。第8期ではいかがか。一番の見直し理由は自治会長や委員の方の負担軽減のためということ。

(委員) 簡素化・合理的にした方がいい。住民自治組織についても屋上屋を掲げているだけだ。右岸・左岸案には賛成。

(委員) 自治会長を務めていた頃は、いくつも役が重なり会議が多くて大変だった。負担軽減は必要なことである。

(委員) 地域協議会とまちづくりの会がきちんと位置付け、役割が明文化された資料を読めば分かるが、地域の多くの方は状況を理解していない。地域との結びつきを問われている。案には反対ではないのでよいが、組織作りには注意して欲しい。

(会長) 他に意見ありますか。無いようですので市から正式に意見聴取が行われた際は、上田西部地域協議会は「賛成」とします。

(事務局) 他の地域の意見次第でこの案のとおりになるか分かりませんが、改めて提案します。

(2) 第 8 期の調査研究テーマ

- ①令和元年東日本台風(台風 19 号)の話題を軸とした調査研究活動
- ②資源循環型施設の話題を軸とした調査研究活動

(ア)今後の地域協議会の進め方(調査研究活動)について

- ・取組体制 1 案：全員で 2 案：2 つの部会に分かれて

(事務局)全体会でやった場合多くの人の意見を聞くことができるというメリットもあるが、2 つの部会に分かれた場合は、各部会が 7 人位となり、近い距離で意見交換ができるメリットもある。

(会長)資源循環型施設の方については、今までの経緯を学習する中で上田市のごみ行政(生ごみ・プラスチック)に対して提言できる内容となればするという事で設定した。

行政の担当者から話を聞く会は全体でやっていいと思っている。具体的なものについては分けても全体でもいいと思う。台風 19 号の話も危機管理防災課から出前講座を依頼する。そうするとしばらくみんなでやるというイメージとなるのか。

(事務局)新型コロナウイルス感染症拡大の影響で地域協議会の活動開始が遅れた。今後の感染状況によっては会議を予定どおりに開催できない可能性もある。また、設置単位の見直しや別の案件で諮問・意見聴取することもあるため、毎回調査研究活動をできるとも限らない。令和 4 年 1 月に提言することを前提に考えると、12 月には提言内容をまとめておく必要がある。

(委員)①でも②でもきちんと委員の中での情報共有が必要である。出前講座を依頼するにしても、12 月までに何回くらい会議が開催できるものかも踏まえて考えないといけない。

(事務局)提言は市長に対して行うものであるが、調査研究の結果によっては住民の皆さんに対しての内容になることもある。

講座により①②それぞれの課題を認識して、どちらかの知識を深めたいということになれば、後から分科会に分かれて議論を進めていくというのも一つの方法かと思う。

(会長)ひとまず皆で進めるという方向性で、出前講座等で情報共有していく。

(イ)①のこれまでの進行状況と今後

●「令和元年東日本台風(台風 19 号)被害を思い出してみよう。被害状況及び災害対応アンケート」結果(まとめ)について

【上田西部地域協議会 台風 19 号アンケートピックアップ事項】会長作成資料

(会長)皆さんからのアンケートの内容をまとめ、重要だと考えたものをピックアップ事項として挙げた。まとめから漏れたものや、特に重要そうなものがあれば挙げていただきたい。

(委員)被害状況も自治会によって差がある。もっと危機意識を持って普段から準備をした方がいい。

(委員) 台風の後の対策として市に何を提言するのかわからないが、地域協議会として何ができるのかを考えていきたい。

(委員) この資料にプラスして、西部地域自治連会長会で、自治会にどんな備品があるか一覧表ができている。市からも自治会3役にメールで連絡が来るようになっている。上田市メールに登録をすれば役に立つ。

(委員) 停電があったのは知らなかった。もう少し寒い時期だったらと思うと心配になった。携帯の電源だけでも確保できれば安否確認もできる。発電機は重要である。

(委員) 自治会では市の補助金があるため、発電機や充電タップなどを購入している。自助・共助・公助が大事。そうは言ってもまずは自分。自助が大事になってくるので、個人で用意できることはやっておく。

(委員) まちづくりの会で防災に携わって感じているのは、自治会は備えていて、それを伝えていないのではなく、私達が情報を取りに行こうとしていないということ。上田は安全だから大きな災害が起きると思っていない。自分達でなんとかするという気持ちが足りない。

(委員) できる限りの対策を個人で取っておくのは当たり前のこと。災害時、情報が平等に伝わっていないことを感じた。今後も災害が起きることを想定して、どこが情報を主として集めるのか、集めた情報をどこにおろすのかなど、システム作りをしていかないといけない。

(委員) 自分自身も情報を取りに行ったり、事前に準備しておくことが中々できなかった。それぞれ自治会で準備をしているようなので、1年に1度でも訓練をしていくことが大切かと思う。

(委員) まちづくりの会防犯防災部会でハザードマップを作る予定なので、完成したら見ていただきたい。避難場所をあらかじめ調べておける。

(会長) 皆さんありがとうございました。今後どのように議論を進めていくか。もう少し具体的に見ていただき、次回に議論していきたいところを考えてきて欲しい。まちづくりの会の防災部会からも各自治会で持っている備品の一覧等提供していただき、情報共有したい。個人的には、情報のシステム作りが非常に重要なことだと思うので、それに関連したことを提言につなげたい。

②のこれまでの進行状況と今後

(会長) 資源循環型施設については出前講座の日程を決めていきたい。

(委員) 先の見通しが立たない中で何度もというわけにもいかない。例えば30分くらいで講座を聞いて、議論に持っていければ2つのテーマについて話をしていけるのでは。

(事務局) 30分説明で15分質疑応答などオーダーに応じた講座ができる。

(委員) 去年の秋サントミューゼで西部地区対象の説明会があったが、その資料を事前に皆さんに配布してもらい、話をしてもらった方が分かり易い。

(委員) 知らないより知っておいた方がいい。ごみ問題について行政としても減量化を図ろうとしているし、生ごみについても検討をしているようだ。焼却炉についても公害的な部分も含めて状況と検討内容についてテーマを絞り込んで講座をしてもらえたらいい。

(事務局) 市民の皆さんに説明している分かり易い資料があると思うので、それをベースにして上田西部地域協議会用の説明をしてもらい、質疑応答を活発にできればと思う。

(会長) 概要を掴むための資料を事前に送っていただき、具体的に聞きたい内容をアンケートで出してもらう方向で進めたい。

3 その他

(事務局) 上田西部地域協議会だよりの校正が進み、3月16日付の定期送達にて地域の皆さんには回覧でご覧いただく。

次回予定

3月22日(月) 午後7時00分から 西部公民館

(事務局) わがまち魅力アップ応援事業の継続審査が1件ある。

4 閉会